

**平成 25 年度  
日本医師会総合政策研究機構・日本学術会議  
共催シンポジウム**

- I. 日 時 : 平成 26 年 2 月 22 日(土) 13:00~17:00  
II. 場 所 : 日本医師会館 大講堂 (東京都文京区本駒込 2-28-16)  
III. 参加者 : 医師会員、日本学術会議会員・連携会員および公募の一般参加者 (約 500 名)  
IV. テーマ : 「福島原発災害後の国民の健康支援のあり方について」  
V. プログラム :

総合司会 : 石 井 正 三 (日本医師会常任理事)

1. 開 会 13:00

2. 主催者挨拶 13:05~13:15

横 倉 義 武 (日本医師会会長)

大 西 隆 (日本学術会議会長)

3. 講 演

座 長 : 澤 倫太郎 (日本医師会総合政策研究機構研究部長)

(1) 13:15~13:40 森 口 祐 一 (東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻教授)  
「事故由来放射性物質による影響の総合的理解と環境回復に向けた課題」

(2) 13:40~14:05 木 田 光 一 (福島県医師会副会長)  
「福島原発災害後の被災者の健康支援の現状と課題」

(3) 14:05~14:30 島 蘭 進 (上智大学神学部特任教授)  
「国や福島県の健康支援に信頼が得られるために」

< 休 憩 5 分 >

座 長 : 石 井 正 三 (日本医師会常任理事)

(4) 14:35~15:00 後 藤 あ や (福島県立医科大学 准教授)  
「科学と地域の架け橋—福島市における育児支援と人材育成—」

(5) 15:00~15:25 伊 藤 和 子 (国際人権NGOヒューマンライツ・ナウ  
事務局長)  
「『健康に対する権利』の視点からみた、福島原発災害後の政策課題  
—国連特別報告書『グローバー勧告』を中心に—」

(6) 15:25~15:50 明 石 真 言 (独立行政法人 放射線医学総合研究所理事)  
「被ばく医療の現状からみた福島」

< 休 憩 10 分 >

4. パネルディスカッション

16:00~17:00 「福島原発災害後の国民の健康支援のあり方について」

パネリスト : 上記 6 名の講演者

座 長 : 石 井 正 三 (日本医師会常任理事)

春 日 文 子 (日本学術会議副会長)

5. 閉 会 17:00 中 川 俊 男 (日本医師会副会長)